# 2024年度 シラバス作成要領

来年度開講予定の授業について、内容と計画を**学内のポータルサイトに掲載**します。 つきましては、先生のご担当科目について、次の要領で作成をお願いします。

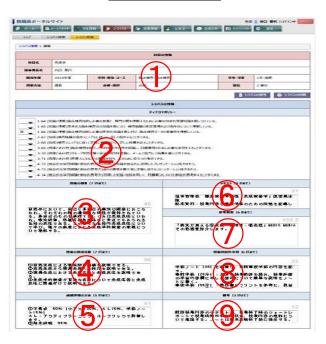
#### ≪作成方法≫

「教員ポータルサイト」から入力

## 全ての項目について入力をお願いします

#### 【見本】

授業内容の部分



授業計画の部分



## 入力期限 2月13日(火) 23時59分

## 【入力方法】

#### 1 科目の情報

学科・授業科目の区分・ID 番号・科目名・授業方法・単位数・選択区分・開講年次・ 開講学期 → **既に入力済**(変更不可) ※間違いがありましたらお知らせください。

			科目の情報			
科目名	免疫学 ●● ●●					
担当者氏名						
開設年度	2( 2020 年度	学科・専攻・コース	臨床核查·臨床核查	学年·学期	1年·後期	
授業方法	調義	必修·選択	必修	単位	1 単位	

## ②ディプロマポリシーに基づいて重 点的に身につける能力

- 最初の記号が A 1 1 またはA 1 2 またはA 1 3 の該当する項目を選択し、ドロップダウンリスト(赤枠の▼)で、◎か○を選択する。
- •最大<mark>5項目まで</mark>選択が可能
- 選択した項目のみシラバスに自動的 に表示される。

#### 表示例



## **③授業の概要**(196 文字以内)

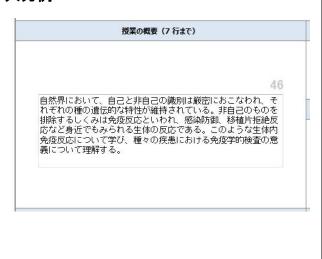
授業の目的の説明を入れる。

• <u>この授業を設けている「理由」</u>を学生 が理解できる内容にする。

「**~が理解できるようになるために、 ~について学ぶ」**というような表現に すると目的を理解しやすい。

- 「学生便覧」に記載されている「カリ キュラムポリシー」と関連させた内容 にする。
- 内容は、簡潔にまとめる。
- 学生にわかりやすい表現にする。
- 実務家教員の場合は、授業内容が実務 経験に基づく内容になっていること。

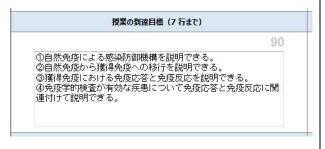
#### 入力例



## **4**授業の到達目標(196 文字以内)

- 「ディプロマポリシー」に沿って、到 達目標を具体的にする。
- <u>学生を主語</u>にし、<u>簡潔に箇条書き</u>に 「~できる。」「~を理解している。」 など
- ・抽象的な表現はさける。
- 目標が多くならないようにする。

## 入力例



## ★<mark>実験、実習、</mark>及び<mark>講義中のアクティブラーニング</mark>は、できるだけ、

### 「**ルーブリック評価**」を取り入れてください。

### 5成績評価の方法(140 文字以内)

•「学修成果」と関連付けた「到達目標」の 項目が、達成できているか評価する。

#### 評価方法の方法

- あいまいな評価法は用いない。
- たった1回の試験で評価しない。

#### (「筆記試験 100%」は不可 ※注1を参照)

- 数値で比較できない情緒的判断による評価はしない。
- 確認試験(小テスト)、時間外学修のための課題、中間試験、期末試験などで、総合的に科目の学修成果を査定する。
- 数値化された公平な評価であること。
- ・実験、実習、及び講義中のアクティブラーニング(ディスカッションなど)は、できるだけ「ルーブリック評価」を取り入れてください。
- •「出席」は評価対象に入れない。
- 「平常点」を評価対象とする場合は必ずその内訳を記入する。

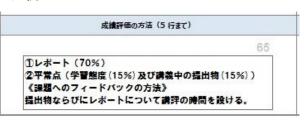
#### 入力例1

成績評価の方法 (5 行まで)

41

①平常点 50% (小テスト30%, AL10%, 学修ノート10%)
AL:アクティブラーニング ルーブリックで評価します。
②期末試験 50%
《試験のフィードバック方法》
期末試験終了後に解説する。試験80分・解説30分

#### 入力例2



#### 記載例1

小テスト 20%、中間試験 30%、 期末試験 40%、アクティブラーニング (ルーブリック評価)10%

#### 記載例2

中間試験 30%、期末試験 60%、<u>平常点</u> (小テスト・発表など) 10%

#### 記載例3

レポート 30%、期末試験 50%、および 平常点 (実習態度、毎回の作品提出状況等) 20%の割合で総合評価する。 上記 4 項目のうち、いずれかが基準に満たない場合、単位は認定されない。 評価について学生への《フィードバックの方法》を記載する。

#### 記載例1

期末試験後に解説を行う。(試験 60 分・ 解説 30 分)

#### 記載例3

レポート(提出物)について講評の時間を設ける。

#### 記載例2

小テスト:試験後に解説(10分)

期末試験:試験(60分)後に解説(30分)

#### ※注1

期末のペーパーテストだけで評価を行うのではなく、ペーパーテストに加えて、<u>質問・発言内</u>容・受講態度・レポートなどを<u>組み合わせた評価方法</u>が必要となります。

また、「③授業の到達目標」に対する達成度も成績評価の重要な項目となりますので、段階的に到達度を測り、毎回の講義の積算が成績評価に反映されるような方法を設定してください。

これには、複数回の確認テスト(小テスト)を行うことが有効な方策の1つとされています。

## **6**テキスト (84 文字以内)

・授業で使用し、学生に<u>必ず購入させる</u>ものを記入する。

## 著者名「テキスト名」(出版社名) の順番と様式で記入する。

資料等を配布する場合は、その旨を 記入する。

#### 入力例

テキスト (3 行まで)

31

窪田哲朗他 臨床検査学講座「免疫検査学」医歯薬出版 配布資料:授業内容と事後学修のための問題を記載している。

#### **7**参考図書(168 文字以内)

- 参考として紹介するもので、購入させないものを記入する。
- 授業では直接使用しないが、持っている と参考になるものを記入する。

#### 著者名「テキスト名」(出版社名)

の順番と様式で記入する。

#### 入力例

132. 「病気が見える®免疫・脳原病・感染症」MEDIC MEDIA その他適宜紹介します。

参考図書 (6 行まで)

### 8授業時間外学修(168文字以内)

事前学修と事後学修に分けて記入する。

学生は、何からとりかかれば良いのか分からないので、具体的に

- 事前学修造められるような内容を具体的に
- 事後学修 復習することを具体的に
- およその<u>所要時間</u>を記入

#### 入力例

#### 授業時間外学習(6行まで)

22

学修ノート(A4)を準備し、事前事後学修の内容を記す。 事前学修 (20分): 次回の授業範囲を読み、授業計画の学習内 容欄に示した語句について簡単な説明をノートに書く。 事後学修 (60分): 教科書とブリントを参考に、復習問題を解 き、最後に投業の要点を記す。 授業中にディスカッション、グループワークを行う。

#### 記載例1

#### 事前学修

授業計画に記載した語句(キーワード) の意味を調べノートに書いてくる。

#### (20 分程度)

- 必ず事前にテキストに目を通しておくこと。(20 分程度)
- テーマを与えて、授業前に調べても らうこともある。 (30~40 分程度)

## 事後学修

- 教科書と配布プリントを参考にしながら、 復習問題を解く。(60 分程度)
- 毎回行う小テストの復習 (20 分程度)
- 過去問題に取り組み、間違った問題を復習する。(10分程度)

など

など

#### **9備 考**(84 文字以内)

受講するためのアドバイスや授業実施 方法などを記入する。

#### 記載例

- ノート整理が重要です。
- 実務家教員による授業の場合は、<u>「実</u> 務家教員による授業」と記入する。

など

#### 入力例

#### 備考 (3 行まで)

実務家教員による授業

実務家教員の場合は、

実務家教員による授業とご記入する。

**★アクティブラーニング** で授業を行う場合は、**10授業計画**の学習内容の欄に記入する。

#### 10授業計画

テーマ (各回 **2 行×11 文字**以内) **学習内容** (各回 **2 行×39 文字**以内)

「期末試験」は入力しない。

#### テーマ・学習内容

「学習内容」は、「事前学修」しやすいよ うにできるだけ**詳しく、具体的**にする。

**★アクティブラーニングの手法**で授業を する場合は、**手法名を具体的**に**記載**す る。

《アクティブラーニングの手法 例》 PB1(問題解決型学習)、反転授業、 ディスカッション・ディーベート、 グループワーク、プレゼンテーション、 実習・フィールドワーク など

#### ★ | CTを活用した情報分析等の要素を

含む授業とは『授業全体を通じてIT 技術を活用する授業内容であること』

- I T技術を有効活用して、情報を伝達・ 交換することに着眼点を置いている。
- I T技術を学習する授業がベースになっている。

			授業計画			
₹ 7—7 (2 f7åで)			宇宙内容(2 行まで)			
1	免疫系の構成要素	14	免疫系の概念、免疫担当細胞: リンパ球(T, B, NK), 顆粒球, 単球・マクロファージ, 樹状細胞, 肥減細胞	30		
2	免疫系の構成要素	14	中枢リンパ組織、末梢リンパ組織: 骨骼、胸腺、脾臓、リンパ管とリンパ節、MALT	41		
3	自然免疫	18	自然免疫における病原体認識の特徴。自然免疫の構成要素と機能: パターン認識、Toll-like receptors。アポトーシス	24.5		
4	獲得免疫系への抗原提 示	11	APCによる拡廉の取り込み、MHC分子、抗原のプロセッシング: MHCクラスI分子、MHCクラスI分子、外来性抗順、内在性抗順	22.5		
5	獲得免疫における抗原 の認識	9	B細胞の抗原辺蓋、抗体の種類、抗体の構造と機能、T細胞の抗原辺蓋: 抗体H鎖L鎖の可実都進伝子の再構成、アイソタイプ、アロタイプ、イディオタイ	9		
6	「細胞の活性化機構と设 割	10.5	T細胞の活性化に必要な分子群: TCR複合体,共気容体,共刺激分子,エフェクター機構	39.5		
7	抗体の産生機構と役割	12	B細胞とT細胞の相互作用。核体産生、核体の機能: リンパ減酸、H週支常都適伝子の再構成。クラススイッチ	29.5		
8	補体系の役割	16	循体系の3つの経路、各経路の活性化: 別経路、レクチン経路、古典経路、アナフィラトキシン、調節回子	30.5		
9	まとめり	18.5	到達目標のΦΦ AL:第1図~第6回までの内容をプレゼンテーションする。	44		
10	能動免疫と受動免疫。 自己寛容	8	協動免疫、受動免疫、自己宣容: ワクチン、抗毒素、免疫グロブリン製剤、母児免疫、positive/negative	25.5		
11	免疫学的検査が有効な 疾患	10	措施感染症、ウイルス感染症: エンドトキシン。実型肺炎,異好抗体。血球炎会症候群	39		
12	免疫学的検査が有効な 疾患	10	ウイルス感染症、実態感染症、寄生虫感染症: ウイルス性肝炎、インフルエンザ N・N、オセルタミフル、β-Dグルカン	24.5		
13	免疫学的検査が有効な 疾患	10	護痛性疾患,アレルギー: 糖痛マーカー, Mタンパク, I ~Ⅳ型アレルギー	44		
14	免疫学的検査が有効な 疾患	10	自己免疫疾患、免疫不全症: 組織特異的/全身性自己免疫疾患、8細胞・T細胞・薬含型・食細胞の除害、補体	26		
15	まとの2	18.5	到達目標像 AL: 第10回~第14回までの内容をプレゼンテーションする。	45		

#### 記載例

(実施する日の学習内容の欄や備考に 記載する。)

- グループ別に課題についてディスカッションしてまとめる。
- 研究発表会は、パワーポイントを用いてプレゼンテーションする。

#### 例

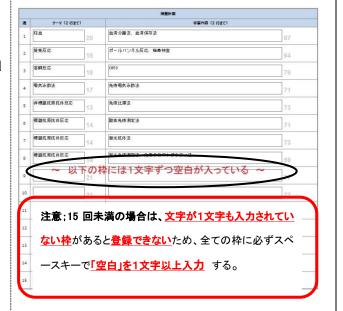
- Webでバラバラの情報を集めて○○サイトを作る。
- 廿日市市の産業情報や観光地情報を収集 し、山女視点のサイトを立ち上げHPにアップする。

## **入力例1**《15 回未満》

## 《授業回数が <u>15 回未満</u>の場合》

## 入力例1

文字が入力されていない全ての「テーマ」 と「学習内容」の枠に、スペースキーで 「<u>空白」を1文字以上入力</u>する。



### 《授業回数が 16~30 回の場合》

#### 入力例2

1つの枠を<u>上下に分けて、2回分</u>の授業のテーマと内容の入力をする。

## 入力例2 《16~30 回》

	授業計画		
テーマ (2 行まで)	学習内容(2 行まで)		
1 免疫系のしくみ① 2 免疫系のしくみ②	免疫の模要 自然免疫と獲得免疫	64	
3 免疫系のしくみ② 4 免疫系のしくみ③ 4	暴姓免疫 细胞性免疫、受動・能動免疫、免疫實容	56	
5 免疫学的検査① 6 免疫学的検査② 6	抗原抗体反応、検査法 感染症と検査	62	
7 免疫学的検査③ 8 免疫学的検査④	アレルギー、腫瘍と検査 自己免疫、免疫不全と検査	55	
9 輸血・移植検査① 10 輸血・移植検査② 3.5	(ABO式血液型、Bh式血液型 血液製剤、卵血制作用	56.5	
	免疫等のしくみの   4   2 免疫等のしくみの   4   2 免疫等のしくみの   4   4 免疫等のしくみの   4   4 免疫等のしくみの   4   4 免疫等の比較重か   5 免疫等等排棄す   5   6 免疫等等排棄す   6   8 免疫等等排棄す   6   8   8   8   8   8   8   8   8   8	免疫系のレくみの   免疫の度要   自然免疫・関す免疫   自然免疫・関す免疫   自然免疫・関す免疫   自然免疫・関す免疫   自然免疫・関す免疫   自然免疫・対象免疫・   投資性対応・ 検索法   一般などを検索   ア・免疫学的検索の   の 免疫学の検索の   ア・ルティー・ 接痛と検索   ア・ルティー・ 接痛と検索   ア・ルティー・ 接痛と検索   日本の発・免疫・全と検索   日本の発・免疫・全と検索   日本の発・免疫・全と検索   日本の発・免疫・全と検索   日本の発・免疫・全と検索   日本の発・免疫・企業・   日本の発・免疫・企業・   日本の発・免疫・企業・   日本の発・   日	

## 【登録(仮)方法】



**仮登録**…入力後 **A** をクリック (訂正・修正の必要があるため)

## ※ この時点では「確定」しないでください

チェック後、修正をお願いすることがあります。確定の時期は後日お知らせします。

※ご注意! 1文字も入ってない枠があると、登録できません。

## 【完成見本】

《専門教育科目 専門	門基礎》						
科目名							
担当者氏名							
授業方法	講義	単位・必選	2・必修	開講年次・開講期	1年・後期		
ディプロマポリシ 重点的に身につい	し ◎ /一に基づいて ◎	1-66 (知識と理解)臨床検査技師に必要な医学的知識を身に付け、臨床検査データの重要性を理解している。 3-70 (態度と志向性)グループ学習の場で自分の役割を認識し、チームで協力して結果を導くことができる。 4-72 (総合的な学習経験と創造的思考力)習得した知識を総合的に活用したプレゼンテーション能力をもつ。					
伝的な特性が維持さ 構とよび、感染防御	では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	しくみを生体防御機 システムがある。こ PF配布資料pdf:授業内容と事後学修のための問題を記載			とめの問題を記載している。		
②自然免疫から獲得	禁染防御機構を説明できる。 免疫への移行を説明できる。						
④免疫学的検査が有 けて説明できる。	免疫応答・免疫反応を説明で 対な疾患について、免疫応答 、語句・項目ごとのラベルサ	・免疫反応に関連付	【授業時間外学修】 授業は遠隔(ZoomとPF)で実施します。専用の大学ノート(A4)を準備し、学修内容を全て記すこと。 事前学修(20分):授業計画の学習内容欄に示した語句について意味を確認しておく。 事後学修(80分):教科書と配布資料を読み、授業内容を復習する。				
ニング10%〉②試験 試験20%) 《試験のフィードバ	- 修ノート30%、冬休み課題10% 850%(授業1〜8回の試験:30%		事後子18(80万):数符音と配布資料を読み、投集内容を接当する。 問題を解いて理解したか確認する。 《 <b>信考》</b> 対面授業をする場合は定められた感染予防対策を講じた上で授業を行います。遠隔授業により教育の質が向上するよう努力します。				
(授業計画)							
週	テーマ 免疫系の構成要素	7 21 7 2					
1		リンパ球,顆粒球,抗原提示細胞,骨髄,胸腺,リンパ管とリンパ					
2	自然免疫	自然免疫における病原体認識の特徴,自然免疫の構成要素と機能 バターン認識,Toll-like receptors,アポトーシス					
3	獲得免疫	抗原提示:APCによる抗原の取り込み、MHC分子、抗原のプロセッシング MHCクラスI分子、MHCクラスI分子、外来性抗原、内在性抗原					
4	獲得免疫	抗原の認識: B細胞の抗原認識, 抗体の種類, 抗体の構造と機能, T細胞の抗原認識、遺伝子の再構成, アイソタイプ, アロタイプ, イディオタイプ					
5	獲得免疫	T細胞の活性化機構と役割: T細胞の活性化に必要な分子群 TCR複合体、共受容体、共刺激分子、エフェクター機構					
6	獲得免疫	抗体の産生機構と役割: 路細胞とT細胞の相互作用,抗体産生,抗体の機能 リンパ滤胞, H鎖定常部遺伝子の再構成, クラススイッチ					
7	獲得免疫	補体系の役割: 補体系の3つの経路,各経路の活性化 別経路,レクチン経路,古典経路,アナフィラトキシン,補体調節因子					
8	獲得免疫	能動免疫・受動免疫,自己寛容の成立 ワクチン,免疫グロブリン製剤,母児免疫,positive selection,negative selection					
9	自然免疫と獲得免疫のまとめ	り 中間試験(対面、感染予防対策上、教室や授業時間帯を変更する可能性がある) 講義1~8回の試験80分,解説80分,学修ノート提出					
10	免疫学的検査が有効な疾患	細菌感染症, 真菌感染症, 寄生虫感染症に対する免疫反応 エンドトキシン, β-Dグルカン, アレルギー グループワーク (遠隔)					
11	免疫学的検査が有効な疾患	ウイルス感染症に対する免疫反応 ウイルス性肝炎、インフルェンザ、 HIV感染症 グループワーク (遠隔)					
12	免疫学的検査が有効な疾患				腫瘍マーカー,Mタンバク,		
13	免疫学的検査が有効な疾患	腫瘍性疾患に対する免疫			·		
14	免疫学的検査が有効な疾患	自己免疫疾患:自己寛容	字の破綻	<u>/・                                    </u>			
15	免疫学的検査が有効な疾患				・。ルーブリック評価(学生,		

## 【全内容を別のシラバスに複写する方法】

## I. 来年度用に作成したシラバスを他のシラバスに複写

既に入力済みの来年度のご自身のシラバスを編集中の他のシラバスに、<u>丸ごと</u> <u>コピー</u>できます。(同じ科目を複数入力する時に便利です。) 注意:コピーする科目を間違えないようにしてください。

※下の**赤枠**の「シラバスの複写」をクリックする



### Ⅱ. 前年度以前に作成したシラバスを複写する

<u>ご自身が入力された</u>前年度のシラバスの内容を、編集中の他のシラバスに<u>丸ごと</u> <u>コピー</u>できます。(内容が前年度とあまり変わらない場合に便利です。) 注意:コピーする科目を間違えないようにしてください。

1.「シラバス」→「シラバス検索」、該当箇所に $\underline{Fェック}$ または $\underline{文字}$ を入力し「検索」をクリックする。

教職員ポータルサイト 職員 🌡 ●● ●● でログイン中 ログブグト							
	▼ボートフォリオ 学生情報 学生情報 シラバス検索 シラバス登録	シラバス 授業情報	§ SNS	スケジュール 🏚 設定			
シラバス検索	ZANARA ZANARA						
シラバスの表示条件							
1 開設年度		□ 2021年度 □ 2020年度					
② 開設学期	□前期 ☑ 後期 □ 通年						
③学科·專攻	□ 人間生活学科 □ 食物栄養学科 (栄養管理) □ 食物栄養学科 (フードピジネス) □ 人間(医情) □ 食物(栄調) □ 専攻(診療)	□ 臨床検査学科(臨床検査 □ 食物栄養学科(栄養調理 □ 人間生活学科(ライフデザ □ 人間(オフィス) □ 食物(フード)	)   □ 人間生活学科(医療事務)	□ 食物栄養学科 □ 臨床検査学科 □ 人間(人間) □ 人間(心理) □ 食物(食品)			
4 開設学年	☑1年  2年  3年						
<b>5</b> 担当教員 (部分一致)	••	<b>6</b> 授業科目名 (部分一致)	▲▲学				
				● 検索 り かア			
この中から (1) 開設年度 2024年度・2023年度ともに☑を入れる (2) 開設学期 該当学期に☑を入れる (3) 学科・専攻 該当する学科コース略名 (短い方) に☑を入れる (4) 開設学年 該当学年に☑を入れる (5) 担当教員 苗字のみか名前のみを入力する							

## 「検索条件」を全て入力すると検索できません

**※ 条件を 少なく設定するほど** 検索しやすくなります。

対象科目名を入力する

2. 表示された前年度のシラバスの欄の「複写」をクリックする。



3. 来年度担当科目の一覧が表示されるので、対象科目の「複写」をクリックする。



4. 複写された内容を確認・修正後、登録する。



※ この時点では「確定」しないでください

チェック、修正が済んでから「確定」の時期をお知らせします。

#### 【科目検索のコツ】

探している科目が検索できない場合は、検索条件を 2つ程度に 減らすと検索しやすくなります。